

まえばし 市議会だより

— 主な内容 —

- 第1回定例会の概要…………… P.2
- 代表質問…………… P.3～4
- 総括質問…………… P.5～10
- 会派別の質問事項…………… P.6～7
- 議案の議決結果…………… P.11
- 意見書…………… P.12

3月に開業した道の駅まえばし赤城



前橋市議会ホームページ
<https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html>

各会計の当初予算を可決

第一回定例会を三月二日から二十九日までの二十八日間の会期で開き、「令和五年度一般会計予算」など市長提出議案六十九件、意見書案十件などを審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（3月2日）

小曽根議長の宣告により第一回定例会を開会し、議席の変更、会期の決定、会議録署名議員の指名後、正副議長の選挙や常任委員の所属変更、議会運営委員の選任などを行いました。

次に、市長提出議案六十件を上程し、山本市長から令和五年度当初予算案の概要について説明があり、続いて残る議案について所管の各部長から提案理由の説明がありました。

○第2日（3月8日）

会議録署名議員の追加指名、議会運営委員の選任、ICT利便性向上調査特別委員の選任の後、各会派を代表して六人の議員が代表質問を行い、市長などがこれに答えました。（代表質問要旨は3、4ページに掲載）

○第3日（3月10日）

上程中の議案や市政に対して十人の議員が総括質問を行い、市長や所管部長などがこれに答えました。（総括質問要旨は5

ページから10ページに掲載）

○第4日（3月14日）

十日に続き、十一人の議員が総括質問を行いました。

次に、当初予算案など四十六議案を所管の各常任委員会に付託しました。

続いて、委員会付託省略の十四議案について、日本共産党市議団から議案第十三号など三議案に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決及び承認しました。（議決結果は11ページに掲載）

○第5日（3月29日）

常任委員会付託議案四十六件について、各委員長が審査結果報告を行った後、日本共産党市議団から反対討論、前橋令明、前橋高志会、公明党市議団、市民フォーラム、かがやきから賛成討論があり、採決を行った結果、全て原案のとおり可決しました。

次に、人事議案（件名及び氏名は11ページに掲載）など九件の市

長提出追加議案を上程し、採決を行い、いずれも同意及び可決しました。

続いて、意見書案十件を上程し、採決を行った結果、四件を可決しました。（可決した意見書の要旨は12ページに掲載）

次に、閉会中の継続調査事件について、各委員会で調査終了まで継続調査することを決めました。

最後に、市長から挨拶があり、第一回定例会は閉会しました。

正副議長決まる



阿部議長



窪田副議長

議長選挙、副議長選挙の結果、第八十六代議長に阿部忠幸議員、副議長に窪田出議員を選出しました。

また各委員会の新しい構成は次のとおりです。

（◎委員長 ○副委員長）

□総務常任委員会

◎小淵一明、○宮崎裕紀子、佐藤祥平、近藤好枝、高橋照代、中林章、三森和也、金井清一、横山勝彦

□教育福祉常任委員会

◎藤江彰、○大澤智之、吉田直弘、市村均光、近藤登、新井美咲子、窪田出、浅井雅彦、鈴木俊司

□市民経済常任委員会

◎林幸一、○小岩井僚太、岡田修一、入澤蘭子、富田公隆、長谷川薫、中里武、笠原久

□建設水道常任委員会

◎堤波志芽、○山田秀明、岡正己、角田修一、須賀博史、新井美加、小林久子、石塚武、小曽根英明

□議会運営委員会

◎新井美加、○藤江彰、岡田修一、小淵一明、角田修一、富田公隆、長谷川薫、中里武、横山勝彦

□ICT利便性向上調査特別委員会

◎鈴木俊司、○金井清一、小岩井僚太、堤波志芽、浅井雅彦、三森和也、小林久子、石塚武、笠原久

代表質問

録画中継を見てみよう！

二次元コードを読み取ると、各議員が本会議で質問している様子を映像でご覧になれます。ぜひご利用ください。



前橋令明
鈴木 俊司



未来先行投資枠事業

〈問〉令和五年度当初予算から導入する事業として未来先行投資枠事業があり、四つの事業が位置づけられています。この事業を実施する狙いや、今後どのように展開していくのかを市長に伺います。

〈答〉公有施設の貸館予約システムなどについては、市民が予約し、お金を払い、鍵を借り部屋を使うという手間が、一体としてオンラインでできれば便利なので進めていきたいと思えます。フレイル対策には、新しい価値であるデジタルによる測定を加えることで機能を高めたいと思います。今までよりも少し高度化して、住民福祉が便利になることで助かることは幾つもあると思います。ここを改善すると市民の皆さんが便利になるという職員からの意見に、迅速に対応できる取組をしていきたいと思っています。

めぶくグラウンド株式会社

〈問〉令和四年十月に官民が連携した形でめぶくグラウンド株式会社設立され、本市においてデジタルの力を使った多くの民間サービスが立ち上がる土台ができ、魅力的なまちづくりが加速することを大いに期待し、非常に楽しみなところですが、めぶくグラウンドは株式会社であり、独立性の高い存在です。本市との基本的な関わりと、会社としての基本的な運営方針をどのように認識しているのか市長に伺います。

〈答〉本市とめぶくグラウンド株式会社の基本的な関わりですが、官民連携という趣旨の下、発起人の一人として会社の立ち上げに関わってきました。今後はデジタル基盤を活用した公共事業を委託または協働で行うことが想定されますが、企業経営に直接市が関わることは考えていません。会社の基本的な運営方針については、会社が独自に考えるものと認識しています。



前橋高志会
富田 公隆



こども未来部の役割は

〈問〉令和五年四月に、こども家庭庁が国に設置されます。本

市でもこども未来部が設置され、対応がふじゅうぶんな問題などへの取組が可能になると期待しています。こども未来部に対する思いや期待する役割について伺います。

〈答〉一番期待しているところは幼保連携で、本市は比較的進んでいると思います。学校の中に児童保育を設置したり、自治会の皆さんのハブを作ったり、いろいろな意味で学校の門が低い取組をしています。それらも含めて連携し、議論しながら子どもたちをめぐると子どもセンター社会といったものを作り上げていければと考えています。

子育て世代への施策展開

〈問〉長引くコロナ禍で地域のつながりが希薄化するとともに交流の機会も少なくなり、子育て家庭の孤立感や負担感が増しています。子育て世代への情報発信や居場所づくりに関して、どのような施策展開を考えているのか伺います。

〈答〉地域子育て支援センター事業をはじめとして保育施設や児童館で子育て世代の交流や相談を実施しています。今後もSNSの活用やニーズに合わせた情報発信を行うとともに、伴走型支援事業を実施しながら取組

を推進していきたいと思っています。



日本共産党市議員
長谷川 薫



憲法第九条による平和外交

〈問〉岸田政権は日米同盟を強化し、専守防衛の原則を投げ捨て、五年間で四十三兆円もの大軍拡を強行しようとしています。今、日本に求められていることは、憲法第九条を生かし、国際紛争を話し合いで解決する平和外交です。市長は平和を願う多くの市民の声に答えて、政府の大軍拡方針に反対をし、撤回を求めるときと考えますが、見解を伺います。

〈答〉本市は平和首長会議に加盟し、平和都市宣言を行っております。国際平和の実現は、全ての市民の願いだと考えて行動していきます。

デジタル化推進の問題点

〈問〉デジタル化の推進とその前提となるマイナンバーカードは、プライバシー権の侵害、国民監視の強化、市税や社会保障の負担増と給付削減の押しつけ、デジタル産業への利益誘導や官民癒着の危険性、そしてデジタルデバイス問題など、多くの問



代表質問

題がありますが、対策がふじゅうぶんです。それらの解決すべき問題について見解を伺います。

〔答〕引き続き技術的な安全性や利便性を丁寧に説明するとともに、国、そして前橋市独自のサービスを提供することにより、マイナンバーカードの利便性を実感してもらえよう環境整備を進めていきます。



公明党市議員
中里 武



デジタルハンドブックの作成

〔問〕本市はデジタル推進により、様々な取組を展開しており、共通ポータル機能の必要性を感じます。今後、サポーター、デジタル推進委員の活躍に期待をするうえで、前橋市が推進する多くのデジタル推進事業の集約版、前橋デジタルハンドブックを作成し、周知、啓発、理解、そして安心して申請登録、活用へと促すためのもの、更にはデジタル推進委員のマニュアルとして、自治会、市民へも配付できるものであってもらいたいと考えますが、見解を伺います。

〔答〕現状デジタルで一元化した共通マニュアルは存在していませんが、デジタル施策やデジタル相談窓口に関する情報が即

座に入手できる機能が求められていると思うため、今後取り組んでいきたいと考えています。

女性防火クラブ

〔問〕女性防火クラブに対する認識、貢献度、高齢社会での役割をどう捉え、今後認知度を高めながら設置率を上げていくための方向性について伺います。

〔答〕女性防火クラブの役割は、家庭防火に加え、地域防災活動への支援にも取り組んでおり、その貢献度は非常に大きいと考えています。今後、更なる充実と活性化に努め、設置率の拡充や認知度アップに向けて取り組んでいきたいと考えています。



かがやき
岡田 修一



歩いて暮らせるまちづくり

〔問〕コンパクトシティを進めるうえで、商業施設、病院など生活サービス施設に容易にアクセスできることが求められ、本市では、例えばシェアサイクル、コグベを移動手段と位置づけ、自転車の利用促進に取り組んでいます。歩いて暮らせるまちづくりや自転車の更なる利用促進に向けた考え方を伺います。

〔答〕自転車は最小単位の交通手段として、コンパクトシティ

に必要な不可欠です。コグベの利用促進には、回遊性向上などの利便増進に向け取り組み、歩行者に対しても安全で快適な利用環境の構築に向けた取組を行い、あらゆる世代が快適で安全にまちを移動できるよう努めます。

療養見などの学びと社会参加

〔問〕さまざまな子どもたちがいる中、学校教育ではインクルーシブ教育の推進が求められています。療養見、障害児の学びと社会参加をどのように考えているのか伺います。

〔答〕一人一人に応じた個別最適な学びが行われるよう指導を充実させ、障害の有無にかかわらず、共生社会を作っていくけるようインクルーシブ教育を充実させることがたいせつです。人的支援や通常学級と特別支援学級などの交流を支援し、多様な人の共生に向けた教育の充実に努めていきます。



市民フォーラム
角田 修一



校内フリースクールの設置を

〔問〕不登校児童生徒に対する多様な学びの場を提供する施策の充実強化について、名古屋

市では令和三年度から教室に入れない児童生徒の教室以外の居場所づくりを進め、百十二校中三十校で校内フリースクールを設置し、成果を上げているようです。本市でも設置を検討すべきと考えますが見解を伺います。

〔答〕本市の各学校では保健室などを活用し、少人数で安心して学べる環境を整えています。本市独自のスクールアシスタント事業などで学校を支援してまいりますし、教育支援教室も市内五か所に設置し、多様な学びの機会を確保していますが、校内フリースクールについても設置自治体の取組などを調査し、研究を進めたいと考えています。

LED防犯灯の更新

〔問〕前橋市LED防犯灯ESCO事業は令和五年で終了しますが、令和六年度に向けて、LED防犯灯の更新についてはどのように取り組むのか伺います。

〔答〕二度目のESCOは利かないわけですので、どのようにしたらいいかと思っております。幸い、本市の電気事業者の皆さんが選んでくれたものが非常によく壊れていないので、もうしばらくどうにかという中で、令和六年以降の更新に向けて検討しているところです。

総括質問



前橋令明
須賀 博史



受水単価引き下げの影響

〈問〉本市の水道の水源は、地下水の自己水と県央水道を効率的に運用し配水しています。県央第二水道の受水単価の引き下げは、企業経営に大きな影響を与えると考えますが、水道料金への影響について伺います。

〈答〉県央水の受水単価引き下げにより、年間で一億円を超える運営費の削減が見込まれますが、電気料や原材料単価などの上昇により、令和五年度予算では動力費や工事費が増額になっています。令和四年度に実施した料金改定などにより得られる財源を有効活用して、安定した事業運営を行ってまいります。

キーボックスによる鍵の管理

〈問〉青少年の健全育成、地域の文化及びスポーツの振興を図ることを目的に、学校の施設が利用され、施設の鍵の管理と貸し出しは開放管理者が行っていますが、地域によっては成り手が見つからないという課題があります。解決方法としてキーボックスによる鍵の管理を考えますが、見解を伺います。

〈答〉キーボックスの活用には、

学校施設の安全な運営上、暗証番号の管理の徹底が求められますが、開放管理者が不在となった場合は施設利用を止めないために一時的な導入を行い、鍵の管理や貸し出しについては、デジタル化などさまざまな方法を今後研究したいと考えています。



前橋令明
堤 波志芽



祭りやイベントの考え方

〈問〉社会全体の活動が新型コロナウイルス感染症前に戻りつつあると感じますが、令和五年度は本市の四大イベントも新型コロナウイルス感染症前の状況に戻るのか、令和四年度予算と比較したうえで見解を伺います。

〈答〉前橋まつりへの補助金は百十二万円の増額、七夕まつり、花火大会、初市は令和四年度と同額です。各イベントとも、さらなる創意工夫による効率的な運営や補助金以外の歳入確保など検討されているところです。



前橋花火大会

体育館空調新設実施設計

〈問〉近年の猛暑への熱中症対策として子どもたちの安全と健康を守るため、学校体育館へ空調を設置する必要を感じています。令和五年度予算に体育館空調新設実施設計が計上されましたが、設置への見解を伺います。

〈答〉熱中症対策及び避難所の環境整備として、国の緊急防災・減災事業債を活用して整備を進めたいと考えています。令和五年度から七年度までの三か年で、中学校二十校に体育館空調を整備する方針です。



前橋令明
市村 均光



今後の家庭訪問の在り方

〈問〉新型コロナウイルス感染症対策や教員の働き方改革の観点から、家庭訪問をほとんど行うことができなかつたと聞いています。子どもの育っている環境を知ることができ、ヤングケアラーやネグレストの早期発見につながることも期待され、子どもにとって必要なものと考えますが、今後の家庭訪問の在り方について見解を伺います。

〈答〉各学校の実情や必要に応じて校長の判断で実施していますが、家庭環境や家庭での様子

の把握は、家庭訪問に限らず、さまざまな方法で対応していくことも可能と考えています。

前橋総合運動公園の整備

〈問〉前橋総合運動公園の整備事業について、令和四年度の進捗状況を伺います。

〈答〉現在、第二球場周辺の電気設備工事、給水設備工事、園路広場工事などを実施していますが、電気設備工事は資材の納期に不測の日数を要したため、令和五年度も引き続き工事を行います。観客席を兼ねた審判室控棟は設計業務が完了し、工事発注の準備を進めており、令和四年度末に工事着手の予定です。



前橋令明
新井 美加



西部環状線の新規事業化

〈問〉西部環状線は、区画整理事業により整備が進められている一方、県道足門前橋線から主要地方道前橋安中富岡線までの区間は未整備の状態です。地元説明会では、新規事業化路線として令和五年度には測量業務を実施したいとの説明に対し、出席した皆さんから多く質問や意

見があったようですが、地元の反応について伺います。

〔答〕道路拡幅のための用地買収範囲の質問や現況水路の排水不良に関する意見がありました。が、おおむね事業実施について理解してもらったと考えます。

染谷川に架かる橋梁の名称

〔問〕西部第一落合地区の区画整理について、現在は地区西側の染谷川に架かる橋梁工事を行っており令和五年の夏に完成すると聞いています。新設する橋梁の名称は地元の小学校に通う児童から案を募集し決定するようですが、進捗状況を伺います。

〔答〕現在小学校から数案の提出があり、今後、土地区画整理審議会長や地元の自治会の皆さんに案を選んでまいります。



前橋令明
横山 勝彦



農地再生に向けた考え方

〔問〕小坂子、枅形地区の農地は耕作放棄地が点在し、活用には南北の幹線を新最終処分場へ、東西を嶺公園通線につなげる道路整備が必要と考えます。農地の再生には民間活力の導入を考えたながらランドデザインを作り、住民の皆さんに示せば将来に向けた方向性が出せると感じ

ますが、市長の見解を伺います。

〔答〕最終処分場の建設と並行して、いろいろな道路整備やチャレンジができると考えます。更には、その農地自体も新しい形の農業のバイオニアが挑戦できると考えています。

台湾とのこれからの交流

〔問〕日本の台湾大使館の李副代表が市長を表敬訪問しました。友好協定や学生の対面による交流、半導体関連の企業誘致など、台湾の台南市とのこれからについて、市長の考え方を伺います。

〔答〕今までの先人が築いた台湾との交流を継続するのは、後世に生きる者の責任でもあります。新しい産業誘致の挑戦は大いに可能性があり、チャンスなものにしたいと思えます。



前橋高志会
窪田 出



省エネルギー対策

〔問〕令和五年度に実施される新工ネ・省エネ機器導入補助事業では六百万円の予算額が計上されていますが、この予算額では市民の光熱費削減に寄与する省エネ対策としては少々物足りなく、事業の効果が発揮されな

いのではないかと思えます。光熱費高騰に苦慮している市民ニーズに対応した省エネルギー対策として追加補正などを実施すべきと考えますがいかがですか。

〔答〕昨今の光熱費高騰に対する国の動向や省エネルギー対策への市民ニーズなどを捉えながら、必要に応じた予算措置が図られるよう、積極的な姿勢で取り組んでいきたいと考えています。

保育所統合後の跡地利用

〔問〕公立保育所の再整備基本方針として、第二保育所と第三保育所を統合して旧第五保育所へ改修後移転することですが、移転後の跡地利用について現段階での考えを伺います。

〔答〕現段階では利活用は未定であり、今後、全庁的な照会などを行いながら、資産利活用推進委員会で方針を決定していくことになると考えています。なお、いずれの保育所も立地適正化計画における中心拠点地区内に位置していることから、跡地の利活用に当たっては新たな都市機能の充実に向けた観点などを踏まえながら、関係部署などで横断的に研究していく必要があると考えています。



会派別の質問事項

- 前橋令明 ①市政運営全般②サッカー場整備③民間活力導入による前橋テルサ活用事業④新型コロナウイルス感染症の五類移行⑤県央第二水道の受水単価引下げ⑥千代田町中心拠点地区第一種市街地再開発事業⑦環境行政⑧教育行政⑨本市職員労働環境改善⑩使用済みおむつの処分⑪体育館空調新設実施設計⑫市有施設の電気料金⑬経済対策⑭住宅政策⑮火災と救急の現状⑯前橋総合運動公園⑰ふるさと納税⑱未来先行投資枠事業⑲民生委員⑳歴史的風致維持向上計画㉑女性活躍推進㉒ヤングケアラー担当㉓地域の諸課題㉔道の駅まえばし赤城㉕赤城山南面の活性化㉖国際交流㉗次世代ドローンの活用㉘災害時の人工透析施設の対応
- 前橋高志会 ①当初予算編成と財政運営②生涯活躍・持続可能なまちづくり③活気・魅力あふれるまちづくり④令和五年度一般会計予算⑤光熱費高騰に対応した本市の省エネルギー対策⑥本市のDX推進⑦公立保育所統合後の跡地利用⑧市政の課題⑨地域の課題⑩高齢者バス利用促進施策⑪市民活動支援⑫まえばし就職水河期世代活躍支援⑬農業用水路
- 日本共産党市議団 ①前副市長の官製談合防止法違反事件と市職員モチベーション維持、向上②深刻な農業危機に対応する支援策③住宅改修支援事業④水道事業⑤新前橋駅の整備及び周辺の再開発⑥保育環境の充実⑦インボイス制度導入の問題点



前橋高志会
金井 清一



上泉地区の歴史まちづくり

〈問〉本市歴まち計画において、赤城山信仰と南麓集落にみる歴史的風致の中に剣聖上泉伊勢守の顕彰活動に関する記述があります。古くから継続している文化活動もあり、最近では銅像や記念碑の建立もあって市内外から訪れる人も多くなりましたが、桂萱地区上泉の歴史まちづくりにおける考え方を伺います。

〈答〉歴史まちづくり法の規定では、具体的な取組は重点区域で実施することとされ、重点区域の指定には歴史的風致として設定したエリア内に、国指定の文化財が存在することが必須と定められています。このため、上泉地区については今回の計画では重点区域に含めることはできませんでしたが、地域住民による顕彰活動などは長い歴史があり、計画に位置づけることで広く周知が図られ、歴史文化遺産の活用や観光政策の立案に弾みがつくものと考えています。

農業用水路の整備方針

〈問〉上泉町ベイスシア北側の農業用水路については、下沖町側は水路整備が完了していますが、

上泉町側は未整備です。今後の整備方針について伺います。

〈答〉群馬県に県単独補助事業の交付申請を行い、令和五年度に水路整備事業が実施できるよう準備を進めています。補助金が交付決定になりましたら、稲刈り後に事業に着手したいと考えています。



前橋高志会
山田 秀明



就職氷河期世代への支援

〈問〉現在、まえばし就職氷河期世代活躍支援事業により、問題解決のためのさまざまな支援メニューが実施されていますが、令和五年度はどのような展開を考えているのか伺います。

〈答〉引き続きジョブセンターまえばし内に専門相談窓口を設置し、県やハローワークなどと連携して不安定な就労状態にある人への支援を実施します。また、これまでの各種講座などに



ジョブセンターまえばしでの相談

加え、職場定着支援のためのピアサポートや情報交換のできる交流スペースの設置、職場体験や資格取得相談会など、支援メニューを拡充して集中的な支援を実施したいと考えています。

子ども視点によるまちづくり

〈問〉令和五年度に新規事業として取り組む子どもアイデア提案型まちづくり活動応援プロジェクトの①事業内容②期待する効果について伺います。

〈答〉①子どもの意見を直接聞く場を作り、子どもの視点から前橋のまちづくりや地域資源の活用、地域課題の解決に向けたアイデアなどを提案してもらい、その提案に賛同する大人のサポートを受けながら子ども主体の事業の実現を図るものです②大人では気づかないような子ども視点での提案をもらえるとともに、こうした経験を通じて子どもが社会性を育み、地域社会の一員として成長していけると期待しています。



日本共産党市議団
近藤 好枝



農業への抜本的な財政支援

〈問〉コロナ禍による需要の減少、ロシアのウクライナ侵略や円安による資材の高騰で、酪農

□**公明党市議団** ①令和五年度当初予算案に対する考え方②教育行政③子育て施策の充実④物価高騰対策⑤安定した公営企業経営⑥群馬総社駅西口開設整備事業⑦歴史まちづくり推進事業⑧基金運用⑨まえばし暮らしテック推進事業⑩母子保健⑪帯状疱疹予防接種⑫緑の保全⑬前橋市のDX⑭千代田町中心拠点地区第一種市街地再開発事業⑮図書館⑯ごみ政策⑰生活困窮者自立支援制度

□**かがやき** ①市長任期最終年を迎えて、市政運営への思いと予算編成方針②少子高齢化社会への対応③物価高、エネルギー費高騰に対処する市民への支援④スロシティ⑤ゼロカーボンシティ⑥アーツ前橋⑦前橋工科大学⑧スマートシティとデジタルグリーンシティ⑨上下水道事業会計⑩市使用の地図⑪前橋テルサ⑫都市計画施策⑬道路整備⑭老人福祉センター⑮環境政策

□**市民フォーラム** ①令和五年度当初予算案②新型コロナウイルス感染症③市長の政治姿勢④デジタル田園都市国家構想⑤本市の住宅政策⑥市立図書館⑦感染者対策⑧障害者就労⑨枯れ⑩防災対策⑪地域包括ケア体制の確立⑫子育て支援施策の充実⑬本市職員の働き方⑭本市におけるパリアフリー施策展開、まちづくり

□**さきがけ赤城** ①教職員による適切な指導

□**なないろ** ①教育②子供の権利③子供の居場所

□**赤利根** ①新しい価値の創造②中心市街地

□**七星** ①令和五年度予算②令和七年度第九回定期見直し

質問

や畜産、ハウス栽培農家をはじめとする農業の現場では、生産すればするほど赤字が膨らむ深刻な事態となっています。今、農業を基幹産業と位置づけている本市の農業を、どのように支援していくのが問われています。本市はこうした重大な認識を持ち、飼料、肥料、燃油などの価格高騰前との差額を国、県へ強力に要請するとともに、本市独自でも所得、価格保障に匹敵するような抜本的な財政支援を具体化すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉新たなステージで支援できるように、新たなエネルギーを作ったり、新たな粗飼料を畜産農家に提供できるように、知恵を絞りながら組み立てていきたいと思えます。



日本共産党市議員
吉田 直弘



新前橋駅東西連絡通路の改修

〈問〉新前橋駅東西連絡通路は老朽化が進んでおり、市民の皆さんが安心して通行できるようにするために、JRと協議し、全面的に改修すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉JRなどの関係機関と協議を進めています。財源確保

などの課題もあるため部分的な補修も実施しながら維持管理を行っていききたいと考えています。

市有地等活用事業

〈問〉新前橋駅東口市有地等活用事業について、商業施設やテナントの入る共同住宅、立体駐車場から成る複合ビルを建設する検討がされています。住民の声をしっかりと聞いて検討すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉地元商工会などとの意見交換をはじめ、周辺住民の皆さんへの説明会や、都市計画の縦覧などでの意見を踏まえながら進めていきたいと考えています。



日本共産党市議員
小林 久子



保育士配置基準の見直しを

〈問〉国の保育士の配置基準は長い期間見直しされていませんが、自治体独自の配置基準を採用しているところもあるようです。本市も、独自に条例を改正し、配置基準を見直すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉現在、国においてさまざまな子育て支援が検討されている中、保育士配置基準の見直しも議論されていますので、国の動向などを注視していきたいと考えています。



公立保育所（第三保育所）

公立保育所の役割と存続

〈問〉公立保育所の統廃合や民営化の推進は、施設の減少につながりかねません。公立保育所の役割を明確にし、存続させていくべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉少子化が進んでいる現状の中で、着実に再整備を進めていく必要があると考えています。



公明党市議員
石塚 武



群馬総社駅西口開設

〈問〉群馬総社駅西口開設について、①これまでの経緯と現在の取組②今後のスケジュールについて伺います。

〈答〉①これまで地域の皆さんとの意見交換やJR東日本との駅整備に向けた協議を定期的に行いながら、地元説明会にて進捗状況を報告しています。現在は、駅舎改築及び東西自由通路整備について、JR東日本と基

本協定を締結するための協議を進めています。その後、基本設計に着手する予定で、地元説明会などでももらった意見や要望についても検討していきたいと考えています②駅舎改築及び東西自由通路整備の基本設計と並行し、駅前広場についても基本設計業務を行います。この中でワークショップなどを開催し、利用者や地域に住んでいる皆さんの意見を伺い、基本設計に反映させていきたいと考えています。



公明党市議員
新井 美咲子



窓口DX

〈問〉手続き時間の短縮や業務改善が見込まれる窓口DXの取組について、見解を伺います。

〈答〉国、先進自治体の取組状況、基幹系システムの標準化の状況を踏まえながら、窓口DXの対応を検討していきたいと考えています。

带状疱疹ワクチンの助成

〈問〉带状疱疹ワクチンは、五十歳以上の人が任意の予防接種として受けることができます。事業内容及び助成手続きについて伺います。

〈答〉事業内容については、一回接種となる生ワクチンは四千

円、二回接種が必要となる不活性化ワクチンは一回の接種につき一万円を二回、いずれかを助成します。助成手続きについては、事前に保健所で申請を行ったうえで、医療機関窓口にて助成額を差し引いた金額を支払ってもらいます。



公明党市議団
高橋 照代



粗大ごみリユース

〈問〉ごみの総排出量の減少につながるため、民間事業者と連携した粗大ごみの買取りや売却など、リユースの取組を積極的に実施してはどうかと考えますが、見解を伺います。

〈答〉現在、リユースショップを視察するとともに、民間事業者などとの連携に向けた意見交換を進めています。今後も、他自治体の事例について情報収集するなど、検討を進めていきたいと考えています。

図書館利用者の利便性向上

〈問〉スマホアプリによる図書館利用カードのカードレス化について、見解を伺います。

〈答〉利用者へのサービスの幅を広げる有効な手段だと認識しているため、今後、先進地の情報収集を進め、アプリ導入に向



利用者の利便性向上へ



かがやき
宮崎 裕紀子



前橋テルサの今後の方針

けて前向きに研究し、図書館利用者の利便性向上に努めます。

〈問〉前橋テルサは令和五年三月末で指定管理を終了し、四月から休館となります。これまでの民間活力導入の進め方を振り返ると、千代田町中心拠点地区の再開発とは切り離して考えてきたものと捉えています。今回公募結果が白紙になったことを契機に、いま一度地域住民の声を聞き、千代田町中心拠点地区再開発との相乗効果で一体的な検討を行うべきと考えますが、市長の見解を伺います。

〈答〉再開発の中で大きなにぎわいが生まれる、その中で私たちの役割は前橋テルサにおいては何なのか、さまざまな思いがあったと思います。市民や商工会議所からの意見をもらいなが

ら、一部でもにぎわいの空間を中心市街地に提供し得ることは可能だと思っています。

老人福祉センターの風呂再開

〈問〉高齢者が無料で利用できるひろせ老人福祉センターの風呂が、男女ともに利用できない状態だと聞いています。いつになったら入れるようになるのかと問い合わせがあり、利用再開を望む高齢者は多いと思います。今後の見通しを伺います。

〈答〉令和四年度には、漏水の原因が特定され、改修方法などが判明しますので、関係部課と改修に向けた協議を進めていきたいと考えています。



ひろせ老人福祉センター



市民フォーラム
三森 和也



町社協の設立

〈問〉生活支援体制整備の推進において進めている町、自治会単位での町社協設立について、先進的な自治会の活動事例を市

内全地域に共有することで支え合い活動が広まりやすいと考えますが、見解を伺います。

〈答〉現在、自治会ごとに説明などを行っている中で、モデル地区の先進事例などを紹介するほか、各地区社協で自治会による活動事例の発表会を開催するなど、情報共有に努めています。

人権施策に関する計画の改定

〈問〉策定後、十年以上が経過している人権教育・啓発の推進に関する前橋市基本計画について、計画改定に関する今後の取組を伺います。

〈答〉庁内で組織する人権施策ネットワークプロジェクト会議に加え、外部委員で構成する人権に関する基本計画有識者会議を新たに設置し、社会情勢の変化に伴い発生した新たな人権問題などを踏まえて検討を行い、関係機関などと連携して見直しを図りたいと考えています。



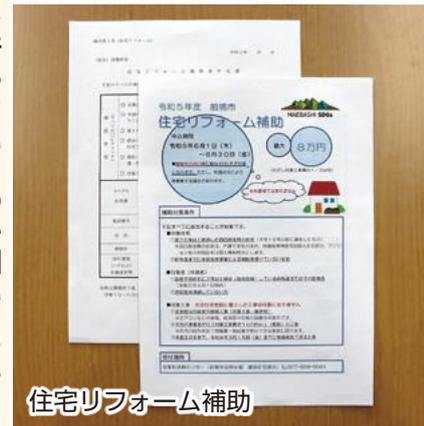
市民フォーラム
大澤 智之



今後の住宅政策

〈問〉現在の社会構造では今後、人口減少や少子高齢化が進み、本市でも例外なく空き家が増加していくと懸念されますが、本市では今後どのような住宅政策

総括質問



を行っていくのか伺います。

〈答〉今後の住宅政策については、空き家に関しては解体を促進するための補助や空き家を活用するための補助を行うなど、効果的な空き家対策になるような制度を更に充実させるとともに、令和五年度から、居住中の住宅のリフォーム全般にも補助を行い、長く住んでもらえるような施策を展開していきたいと考えています。また、所有者不明の土地をなくすため、令和三年四月に所有者不明土地法が公布され、併せて関連する民事基本法制の一部が改正されました。これにより、令和六年四月一日から相続登記が義務化されることから、所有者の特定が迅速に行われるとともに適切な管理や利活用につながることを期待しています。



教職員の不適切発言への対処



さきがけ赤城
近藤 登



〈問〉大多数の教職員の皆さんは子どもたちに深い愛情をもって指導されていることと認識していますが、ある小学生の保護者から相談を受けた例では、担任による児童への不適切発言があったことが認められたと聞いています。教育委員会としてどのように対処するのか伺います。

〈答〉調査結果を県教育委員会に報告し、その指導の下、厳正に対処します。また、被害児童が安心して登校し、笑顔で学校生活が送れるよう、スクールソーシャルワーカーを派遣するなど、心のケアに向けた相談体制づくりに努めます。更に複数の教職員による授業や休み時間の見守りなど、校内体制づくりについて指導していきます。



なないろ
入澤 繭子



輸入小麦から国産小麦への転換を

〈問〉パンに使用する一部輸入小麦については、発がん性のある農薬成分グリホサートの検出が指摘され、子どもたちの健康被害が懸念されますが、①本市

独自の検査の必要性②輸入小麦から国産小麦へ転換することによる給食の安全性及び地産地消率向上に対する考えを伺います。

〈答〉①パンに使用する輸入小麦は国が実施する検査に合格したものです。日本パン工業会もパンに含まれる量は毎日、生涯にわたって摂取し続けても健康に悪影響がないとの見解を示したため、本市独自の検査は不要と判断しました②可能な限り地産地消に取り組みつつ、安心、安全な学校給食の提供に努めていきたいと考えています。



赤利根
岡 正己



保育手続きのDX化

〈問〉保育所などへの入所手続きがアナログでたいへんだという声を聞きます。保育の手続きにおけるDX化を進めることで、保護者の負担軽減につながるのと同時に、事務負担の軽減にもなると思いますが、現状について伺います。

〈答〉保育関係を含め、子育て関係の手続きは、優先的にオンライン化を推進すべきものになります。

置づけられており、保育関係の手続きについてもマイナポータルから電子申請ができるようになる見込みです。手続きにおける保護者の負担軽減については、国の子ども・子育て支援システム標準化の動向を見極めながら、本市の対応を検討して行きたいと考えています。



七星
中林 章



市長の意気込み

〈問〉どのような芽吹きを期待してチャレンジしていくのか、任期最終年度を迎えるに当たり、市長に意気込みを伺います。

〈答〉外から人が来る、働き場所もある、開発が行われていく、これも大きなめぶくの結果だと思います。どういう形のめぶくを期待するか、それは産業の新しい活性化や新しい産業誘致で、それによる価値が、前橋の新たな一歩を作っていくのだと思います。いろいろなことをしてきてたのは、最終的に選ばれるまちになるためです。企業が来てくれるようなアクションを私自身も取り組み、産業誘致によって、新たな就労の機会を市民の皆さんに与えられるようなまちになつてもらいたいと願っています。

意見書

第一回定例会では、意見書案四件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

○新型コロナウイルス感染症の後遺症への対応強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の罹患者の中には、疲労感や倦怠感などの後遺症を訴える方が増え、仕事や学業の継続が困難になるなど、日常生活への影響が非常に大きい後遺症の治療の確立は大変重要な課題である。新型コロナウイルス感染症の後遺症への対応強化のため、次の事項について国に強く求める。

- ①後遺症の発生状況について実態調査を推進すること
 - ②治療の標準化により、後遺症に対応できる医療機関や相談窓口を拡充すること
 - ③自己免疫疾患との関連など後遺症の原因究明と新たな治療法の確立に向けた研究予算を確保すること。
- 認知症の人が安心して暮らせる社会を求める意見書**
- 正しい知識と理解のもと、

認知症の人の尊厳と日常生活を守り、認知症との共生型社会への転換が求められている中で、認知症の人や家族の困難を最小限に抑え、安心して暮らせる社会を構築するため、次の事項について国に強く求める。

- ①認知症サポーター等の育成促進や身近な薬局、介護施設等への相談窓口の開設を支援すること
- ②認知症の重症化抑制や認知機能維持のための薬や対処法等の研究開発体制を強化すること
- ③低所得者が認知症グループホームへ入所しやすい仕組みを作り、認知症の人と家族に寄り添う制度を整備すること
- ④国と地域が一体となり、総合的に推進するための（仮称）認知症基本法を整備すること。

○**難病・長期慢性疾病対策の総合的な推進を求める意見書**

難病及び難病以外の長期慢性疾患の患者やその家族が、安心して暮らせる社会の実現に向け、次の事項について国に強く要請する。

- ①難病の原因究明や治療法の早期開発、診断基準と

治療体制の確立を急ぎ、指定難病対象疾病の拡大を進めること

- ②難病や長期慢性疾病の患者や家族に対し、医療費を始めとする経済的負担の軽減を図ること
- ③難病や小児慢性特定疾病の子供に対する医療の充実を図り、成人への移行期医療を確立し、各家庭環境に応じたインクルーシブ教育の促進を図ること
- ④障害者雇用率の対象とするなど、難病患者の就労拡大や就労支援を充実すること
- ⑤福祉サービスの人材確保の促進を図ること。

- 不登校児童生徒に対する多様な学びの場を提供する施策の充実・強化を求める意見書**
- 不登校児童生徒に対する多様な学びの場を提供する施策を充実、強化するため、次の事項を速やかに実施すよう国に強く要望する。

- ①都道府県や市区町村による不登校特例校の設置が進むよう、さらなる財政的、制度的支援を図ること
- ②不登校児童生徒の学校以外での多様な学習活動に対する保護者への経済的支援を早

急に実施するとともに、フリースクール等に対する財政支援を実施すること

- ③フリースクール等に関する実態調査を実施し、きめ細かな施策を実施すること。



議 会 日 誌

一月から四月までに開催した主な会議は次のとおりです。()内は開催回数です。
 本会議(5)、総務常任委員会(6)、教育福祉常任委員会(6)、市民経済常任委員会(6)、建設水道常任委員会(6)、

次号の発行予定

まえばし市議会だよりは定例会の開催結果を中心に年四回発行しています。次号は令和五年八月一日に発行する予定です。

- ICT利便性向上調査特別委員会(2)、議会運営委員会(7)、各派代表者会議(10)、議会広報紙編集委員会(1)、議会図書室運営委員会(1)
- 議会広報紙編集委員**
- 新井 美加 ○藤江 彰
 - 岡田 修一 小淵 一明
 - 角田 修一 富田 公隆
 - 長谷川 薫 中里 武
 - 横山 勝彦 阿部 忠幸
 - 窪田 出
- (○)委員長 (○)副委員長

次回定例会日程(予定)のお知らせ

6月13日(火)	本会議(初日)
6月20日(火)	本会議(総括質問)
6月21日(水)	
6月22日(木)	本会議(最終日)
6月29日(木)	

(日程は変更になる場合があります。)

本会議の傍聴は議会庁舎7階の傍聴受付で受け付けます。

手話通訳を希望される場合は、傍聴希望日の5日前までにFAXかメールで申込書をお送りください。(申込書はHPに掲載)。

本会議の様子はインターネット中継でもご覧いただけます。



←本会議のインターネット中継
<https://maebashi-gikai.gijiroku.com>